

# AI共生型社会実現促進ワークショップ

3/24(月)  
15:30-18:00

オンライン/参加費無料

※応募者多数の場合、申込早期締め切りの可能性有

主催:IPA(独立行政法人 情報処理推進機構)

ヒトとAIが共生する社会を実現するためには、AI開発と日本の社会的課題を同時に解決するエコシステムの構築が必要です。この度、IPAでは、産官学の有識者と共にデータ・AIの利活用とリスクの両面から「AI共生型社会」の将来像を描き、開発と課題解決に関する知見・ノウハウを集積する場として、「AI共生型社会実現促進ワークショップ」を開催いたします。当日は、多様な有識者が日本における産業競争力強化の観点から様々な知見を共有します。

## プログラム

- 15:30-15:45 開会挨拶  
IPA(独立行政法人 情報処理推進機構)  
理事長 齊藤 裕
- 15:45-16:15 基調講演①「大規模言語モデル(LLM)における安全性対策」  
NII(大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所)  
特任教授  
関根 聡 氏
- 16:15-16:45 基調講演②「生成AI時代の情報通信技術」  
NICT(国立研究開発法人 情報通信研究機構) 執行役  
木俵 豊 氏
- 16:45-17:45 パネル討論「日本の課題解決に向けたデータ・AI利活用」
  - ・ 講演①「生成AI活用によるフロントラインワーカーの生産性向上」  
日立製作所 Generative AIセンター長 兼 Chief AI Transformation Officer  
吉田 順 氏
  - ・ 講演②「三菱電機のデジタル基盤”Serendie”における生成AI活用」  
三菱電機 AI戦略プロジェクトマネジャ  
田中 昭二 氏

他パネリスト:NII特任教授 関根 聡 氏、NICT 執行役 木俵 豊 氏、AISII(AIセーフティ・インスティテュート)所長 村上 明子 氏

- 17:45-18:00 クロージング  
IPA(独立行政法人 情報処理推進機構)  
理事 奥村 明俊

## <Contact Us>

東京都文京区本駒込2-28-8文京グリーンコートセンターオフィス

IPA (独立行政法人情報処理推進機構) 総務企画部 調査分析室

E-mail : ga-ra-info@ipa.go.jp

Information-technology

Promotion

Agency, Japan

お申込みは2次元コードもしくは下記URLから

<https://info.ipa.go.jp/form/pub/application/ai-workshop202503>



# AI共生型社会実現促進ワークショップ

2025年3月24日(月)15:30-18:00

## 講演者紹介 (ご講演順)

### 「大規模言語モデル (LLM) における安全性対策」



NII (大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所) 特任教授 関根 聡 氏

略歴：1987年東工大理学部卒業。1992年英国マンチェスター大学計算言語学部修士号。1998年ニューヨーク大学コンピューターサイエンス学部博士号。その後、ニューヨーク大学研究准教授に就任。松下電業産業株式会社（現パナソニック）、楽天技術研究所ニューヨークなどでの研究職を歴任。

現情報学研究所大規模言語モデル研究開発センター特任教授および理化学研究所革新知能統合研究センター・言語情報アクセスチームチームリーダー。専門は自然言語処理。特に情報抽出、固有表現抽出、知識構築の研究に従事。

### 「生成AI時代の情報通信技術」



NICT (国立研究開発法人 情報通信研究機構) 執行役 木俣 豊 氏

略歴：1990年3月神戸大学自然科学研究科計測工学専攻修了、同年（株）神戸製鋼所入社、1999年3月神戸大学自然科学研究科情報メディア科学専攻博士後期課程修了（工学博士）、2001年4月より（独）通信総合研究所（現（独）情報通信研究機構）所属、2011年4月同機構ユニバーサルコミュニケーション研究所長、2021年4月同機構経営企画部長、2024年4月より同機構 執行役。電子情報通信学会フェロー、情報処理学会フェロー、日本データベース学会理事、日本学術会議連携会員

第56回前島賞、第43回市村学術貢献賞、第11回ドコモ・モバイル・サイエンス賞（奨励賞）

### 「生成AI活用によるフロントラインワーカーの生産性向上」



日立製作所 Generative AIセンター センター長 兼 Chief AI Transformation Officer 吉田 順 氏

略歴：1998年日立製作所に入社。2012年、AI/ビッグデータ利活用を支援する「データ・アナリティクス・マイスター・サービス」を立ち上げる。銀行・保険、流通・小売、製造業、鉄道などさまざまなお客さまとともに、多数のAI/ビッグデータ利活用プロジェクトを推進。社内外のデータサイエンティスト育成にも関わる。2023年5月からGenerative AIセンターのセンター長を務める。

著書に『実践 データ分析の教科書』『実践 生成AIの教科書』。

### 「三菱電機のデジタル基盤”Serendie”における生成AI活用」



三菱電機 AI戦略プロジェクトマネージャ 田中 昭二 氏

略歴：1991年に三菱電機 情報電子研究所（当時）に入社。1996年から2000年まで国際電気通信基礎研究所に出向。コンピュータビジョン、コンピュータグラフィックスの研究に従事。三菱電機帰任後、携帯電話の画像処理技術、カーナビゲーションの描画処理技術の開発に従事。2013年から三田製作所にてカーマルチメディア製品の量産開発を牽引。その後、自動車機器事業部副事業部長、自動車機器開発センター長を経て、2024年2月にAI戦略プロジェクトグループマネージャー、現在に至る。

AI共生型社会実現促進ワークショップ

[https://www.ipa.go.jp/digital/chousa/ai\\_ws.html](https://www.ipa.go.jp/digital/chousa/ai_ws.html)

2025年02月18日独立行政法人情報処理推進機構

©Information-technology Promotion Agency, Japan (IPA)

<https://www.ipa.go.jp/>